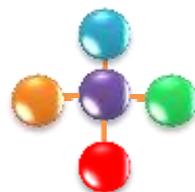
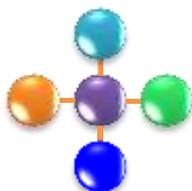
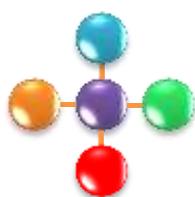




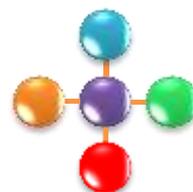
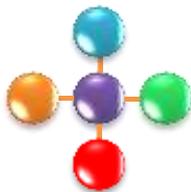
平成30年度

下野市教育委員会点検・評価報告書

[平成29年度事業]



下野市教育委員会



## 目

## 次

1. はじめに	P 1
(1) 趣 旨	
(2) 点検評価の対象	
(3) 点検評価の方法	
2. 教育委員会会議の開催状況	P 2
3. 教育委員会会議における審議状況	P 3
審議状況一覧	P 4
(1) 審議事項	P 4
(2) 報告事項	P 6
(3) 協議事項	P 7
(4) 討議事項	P 8
(5) その他	P 8
4. 教育委員会会議以外での活動状況	P 9
5. 施策ごとの取組状況	P 13
(施策1) 将来を担う人づくり	P 13
(施策2) 生涯にわたり学べる機会づくり	P 15
(施策3) 文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり	P 16
(施策4) 市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり	P 17
6. 評価シート総括表	P 18
7. 外部評価委員会の開催	P 18
8. 評価シート個別表	P 19
9. 外部評価委員会委員	P 37
10. 外部評価委員会による総合意見	P 37
関係資料	
1. 下野市教育委員会事務局組織図	
2. 下野市教育委員会点検評価に関する条例	

## 1. はじめに

### (1) 趣旨

下野市教育委員会では、第二次下野市総合計画前期基本計画（平成28年度～平成32年度）に基づき、市民と行政との協働を基調とした「文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり」を目指し、平成28年3月に「下野市教育大綱」及び「下野市教育振興計画」を策定しました。

下野市教育大綱は、平成28年度から平成32年度までの5か年の教育目標や施策の根本となる方針を下野市総合教育会議において定めたものであり、地域の実情を反映した教育、学術及び文化の振興に必要なさまざまな施策を展開する上での指針となっています。

また、教育委員会が策定した下野市教育振興計画（平成28年度～平成32年度）は、①「将来を担う人づくり」②「生涯にわたり学べる機会づくり」③「文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり」④「市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり」を4つの柱として、教育大綱を実現するための具体的な施策を示すものとなっています。

下野市教育委員会では、第二次下野市総合計画における施策大綱に沿って、具体的な教育行政の執行状況や、今後のあり方等について教育委員会自ら検証し、また、外部評価委員のご意見等をいただきながら、平成20年度から点検評価を実施してまいりました。

今回で11回目となるこの報告は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「下野市教育委員会点検評価に関する条例」の規定に基づき、平成29年度の下野市教育委員会に関わる事務事業について、効果的な教育行政の推進に資するため、点検及び評価を実施した結果を報告書としてまとめました。

#### **地方教育行政の組織及び運営に関する法律 【抜 粋】**

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## (2) 点検評価の対象

点検評価にあたっては、第二次下野市総合計画前期基本計画に基づく施策のうち平成29年度に実施した教育委員会所管の主な事業から、教育委員会において各課3事業を選択しました。そのうちの1事業は、昨年外部評価を実施したものを選択し、継続的な評価ができるようにしました。

## (3) 点検評価の方法

- (ア)点検評価にあたっては、施策・事業の執行状況を明らかにするとともに、課題等を分析検討したうえで、今後の対応方向を記述しました。
- (イ)点検評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々のご意見をお聞きする機会を設けるため、5名を選任し外部評価委員会を開催しました。
- (ウ)教育委員会事業は各課の事業ごとに記載された点検評価シートに基づき点検評価を行い、外部評価委員会より事業ごとに文章方式で評価をいただき、総括として委員長の総合意見をいただきました。

## 2. 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、下野市教育委員会会議規則第4条第1項に基づき毎月開催の「定例会」と、同規則第4条第2項に基づき、急を要し委員長が認めた「臨時会」を開催しています。平成29年度は合計14回開催しました。

開かれた教育委員会を目指し、平成23年度から導入した「出前教育委員会」は、今年で7年目を迎え、教育委員会の審議状況や委員の活動状況等を市民の方に知っていただく重要な機会となっています。

また、委員自らが学校行事や市の行事はもとより、地域活動にも積極的に貢献することで、見える教育委員会を行動でPRしています。

(1) 教育委員会定例会・・・・・・・・・・12回

(2) 教育委員会臨時会・・・・・・・・・・ 2回



祇園小学校で開催された  
出前教育委員会

### 3. 教育委員会会議における審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「下野市教育委員会教育長に対する事務委任規則」に基づき、平成29年度は合計70件について審議しました。

- (1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針 . . . . . 1件
- (2) 教育委員会規則・規程・要綱の制定及び改廃 . . . . . 18件
- (3) 職員の人事に関する事 . . . . . 1件
- (4) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案についての意見申出 . . . 0件
- (5) 教科用図書採択に関する事 . . . . . 1件
- (6) その他 . . . . . 49件
  - 各種委員の委嘱 . . . . . 37件
  - 諮問・答申 . . . . . 8件
  - その他 . . . . . 4件

※ 審議案件のほか、報告事項、協議事項、その他についても取り扱いました。

- (1) 報告事項 . . . . . 53件
- (2) 協議事項 . . . . . 17件
- (3) 討議事項 . . . . . 2件
- (4) その他 . . . . . 25件

#### ◆下野市教育委員会委員名簿（平成29年度在籍）

職名	氏名	任期
委員長	永山 伸一	H26.3.25～H30.3.24
委員長職務代理者	三橋 明美	H28.3.25～H32.3.24
委員	熊田 裕子	H27.3.25～H31.3.24
委員	石嶋 和夫	H29.4.1～H33.3.31
教育長	池澤 勤	H26.3.25～H30.3.24

審議状況一覧

(1)審議事項 70件

番号	件名	提出日	分類(※)
1	下野市国分寺地区小中学校無線LAN機器更新業務標準型プロポーザル実施要領の制定について	平成29年4月13日	(2)
2	平成29年度下野市スクールアシスタント採用候補者の承認及び委嘱について	平成29年4月13日	(6)委
3	平成29年度下野市社会教育指導員採用候補者の承認及び委嘱について	平成29年4月13日	(6)委
4	下野市指定文化財指定に関する市文化財審議会への諮問について	平成29年4月13日	(6)諮
5	下野市教育委員会点検評価実施に伴う外部評価委員会委員の委嘱について	平成29年5月18日	(6)委
6	下野市学校適正配置推進協議会委員の委嘱について	平成29年5月18日	(6)委
7	下野市立国分寺学校給食センター運営委員会委員の委嘱について	平成29年5月18日	(6)委
8	平成29年度下野市スクールアシスタントの解職について	平成29年5月18日	(6)委
9	平成29年度下野市スクールアシスタント採用候補者の承認及び委嘱について	平成29年5月18日	(6)委
10	下野市立小中学校教科用図書選定委員会委員の委嘱について	平成29年5月18日	(6)委
11	下野市立小中学校教科用図書選定委員会への諮問について	平成29年5月18日	(6)諮
12	下野市就学支援委員会委員の委嘱について	平成29年5月18日	(6)委
13	下野市就学支援委員会への諮問について	平成29年5月18日	(6)諮
14	南河内中学校区小中一貫教育推進協議会委員の委嘱について	平成29年5月18日	(6)委
15	下野市英語教育推進プロジェクト委員会委員の委嘱について	平成29年5月18日	(6)委
16	下野市学校給食食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について	平成29年5月18日	(6)委
17	下野市食物アレルギー対応アドバイザーの委嘱について	平成29年5月18日	(6)委
18	下野市社会教育委員の委嘱について	平成29年5月18日	(6)委
19	下野市公民館振興計画策定に関する下野市社会教育委員への諮問について	平成29年5月18日	(6)諮
20	下野市公民館運営審議会委員の委嘱について	平成29年5月18日	(6)委
21	下野市図書館協議会委員の委嘱について	平成29年5月18日	(6)委
22	下野市指定文化財の追加指定について	平成29年5月18日	(6)他
23	下野市少年スポーツ指導員の委嘱について	平成29年5月18日	(6)委
24	下野市小中学校教科用図書調査員会運営規程の一部改正について	平成29年6月15日	(2)
25	下野市就学支援委員会委員の委嘱について	平成29年6月15日	(6)委
26	下野市個人演説会等開催のために必要な設備の程度及び公職の候補者等が納入すべき費用の額について	平成29年6月15日	(2)
27	下野市ふれあい学習推進委員会委員の委嘱について	平成29年6月15日	(6)委
28	下野市立図書館管理システム構築業務標準型プロポーザル実施要領の制定について	平成29年6月15日	(2)
29	下野市学校適正配置推進協議会委員の委嘱について	平成29年7月20日	(6)委
30	平成29年度下野市スクールアシスタントの解職について	平成29年7月20日	(6)委
31	平成30年度下野市立小中学校教科用図書の採択について	平成29年7月20日	(5)
32	平成29年度下野市児童表彰に関する被表彰候補児童の内申について	平成29年8月17日	(6)他
33	下野市立小中学校における学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)作成委託料支払い事務取扱要領の制定について	平成29年8月17日	(2)
34	平成29年度下野市スクールアシスタント採用候補者の承認及び委嘱について	平成29年9月28日	(6)委
35	下野市就学支援委員会の判定結果について(第1回答申)	平成29年9月28日	(6)諮

36	下野市就学援助交付規則の一部改正について	平成29年9月28日	(2)
37	下野市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正について	平成29年9月28日	(2)
38	下野市南河内中学校区義務教育学校整備基本計画策定業務標準型プロポーザル実施要領の制定について	平成29年9月28日	(2)
39	平成30年度小・中学校職員定期異動における下野市の重点目標について	平成29年10月19日	(1)
40	下野市就学支援委員会の判定結果について(第2回答申)	平成29年11月16日	(6)諮
41	平成29年度下野市教育委員会表彰被表彰者の決定について	平成29年12月14日	(6)他
42	下野市就学支援委員会の判定結果について(第3回答申)	平成29年12月14日	(6)諮
43	下野市外国語指導助手の解嘱について	平成29年12月14日	(6)委
44	平成30年度下野市スクールアシスタント採用候補者の承認及び委嘱について	平成30年1月18日	(6)委
45	平成30年度下野市スクールアシスタントの委嘱について	平成30年1月18日	(6)委
46	平成30年度下野市教育相談員の委嘱について	平成30年1月18日	(6)委
47	平成30年度下野市外国語指導助手の委嘱について	平成30年1月18日	(6)委
48	平成29年度下野市教育委員会表彰被表彰者の決定(追加)について	平成30年1月18日	(6)他
49	平成30年度下野市外国語指導助手採用候補者の承認及び委嘱について	平成30年2月15日	(6)委
50	平成30年度下野市社会教育指導員採用候補者の承認及び委嘱について	平成30年2月15日	(6)委
51	平成30年度下野市資料館嘱託員採用候補者の承認及び委嘱について	平成30年2月15日	(6)委
52	平成30年度下野市教職員の人事異動について	平成30年2月28日	(3)
53	平成30年度下野市スクールアシスタント採用候補者の承認及び委嘱について	平成30年3月23日	(6)委
54	平成30年度下野市外国語指導助手採用候補者の承認及び委嘱について	平成30年3月23日	(6)委
55	下野市小中一貫教育統括コーディネーター設置規則の制定について	平成30年3月23日	(2)
56	下野市小中一貫教育統括コーディネーターの委嘱について	平成30年3月23日	(6)委
57	下野市立小中学校管理規則の一部改正について	平成30年3月23日	(2)
58	下野市立小中学校学校評議員設置要綱の一部改正について	平成30年3月23日	(2)
59	下野市学校運営協議会規則の制定について	平成30年3月23日	(2)
60	平成30年度下野市学校運営協議会委員の任命について	平成30年3月23日	(6)委
61	下野市小中一貫教育推進協議会設置要綱の制定について	平成30年3月23日	(2)
62	下野市立小中学校教科用図書選定委員会条例施行規則の一部改正について	平成30年3月23日	(2)
63	下野市公民館振興計画の策定について	平成30年3月23日	(2)
64	下野市地域学校協働活動推進員設置規則の制定について	平成30年3月23日	(2)
65	下野市地域学校協働活動推進員の委嘱について	平成30年3月23日	(6)委
66	下野市ふれあい学習推進委員会設置要綱の一部改正について	平成30年3月23日	(2)
67	下野市文化財有償刊行物取扱要綱の一部改正について	平成30年3月23日	(2)
68	下野市スポーツ推進審議会への諮問について	平成30年3月23日	(6)諮
69	下野市スポーツ推進委員の委嘱について	平成30年3月23日	(6)委
70	下野市スクーガード・リーダーの委嘱について	平成30年3月23日	(6)委

## (2)報告事項 53件

番号	件名	報告日
1	平成28年度通学路整備要望と対応結果について	平成29年4月13日
2	教育委員会後援等の承認について	平成29年4月13日
3	寄附の受け入れについて	平成29年4月13日
4	教育委員会後援等の承認について	平成29年5月18日
5	平成28年度学校教育サポートセンターの事業報告について	平成29年5月18日
6	平成29年度就学援助費認定状況について	平成29年5月18日
7	平成29年度春季中学校体育大会(地区大会)の結果報告について	平成29年5月18日
8	平成29年第2回下野市議会定例会の報告について	平成29年6月15日
9	教育委員会後援等の承認について	平成29年6月15日
10	下野市国分寺地区小中学校無線LAN機器更新業務標準型プロポーザルにおける企画提案者の特定について	平成29年6月15日
11	平成29年度春季中学校体育大会(県大会)の結果報告について	平成29年6月15日
12	教育委員会後援等の承認について	平成29年7月20日
13	寄附の受け入れについて	平成29年7月20日
14	とちぎっ子学習状況調査結果(速報)の報告について	平成29年7月20日
15	平成29年度第12回下野市民体育祭ティーボール大会の結果報告について	平成29年7月20日
16	平成29年度下野市教育委員会点検・評価報告書について	平成29年8月17日
17	教育委員会後援等の承認について	平成29年8月17日
18	平成29年度県中学校総合体育大会の結果について	平成29年8月17日
19	平成28年度一般財団法人グリムの里いしばしの経営状況報告について	平成29年8月17日
20	平成28年度下野市図書館評価報告書について	平成29年8月17日
21	平成29年第3回下野市議会定例会の報告について	平成29年9月28日
22	教育委員会後援等の承認について	平成29年9月28日
23	平成29年度全国学力・学習状況調査結果(速報)について	平成29年9月28日
24	平成29年度『いきいき学び塾』の事業報告について	平成29年9月28日
25	下野市立図書館管理システム構築業務標準型プロポーザルにおける企画提案者の特定について	平成29年9月28日
26	平成29年度第12回下野市民体育祭キンボールスポーツ大会結果報告について	平成29年9月28日
27	平成29年度第2回栃木サッカークラブ下野市民デーの開催について	平成29年9月28日
28	教育委員会後援等の承認について	平成29年10月19日
29	寄附の受け入れについて	平成29年10月19日
30	平成29年度中学校新人大会の主な結果報告について	平成29年10月19日
31	平成29年度学校教育サポートセンター上半期事業報告について	平成29年10月19日
32	下野市の歴史文化を活用した観光振興事業計画について	平成29年10月19日
33	第12回下野市民体育祭運動会(石橋地区・国分寺地区)及び第9回南河内地区スポーツフェスティバルの結果報告について	平成29年10月19日
34	平成29年第4回下野市議会定例会の報告について	平成29年12月14日
35	教育委員会後援等の承認について	平成29年12月14日
36	下野市南河内中学校区義務教育学校整備基本計画策定業務委託に係る契約事業者の特定について	平成29年12月14日

37	グリムの森・グリムの館における指定管理者の指定について	平成29年12月14日
38	下野市都市公園条例の一部改正について	平成29年12月14日
39	第12回下野市南河内地区一周駅伝競走大会(通算36回)の結果報告について	平成29年12月14日
40	教育委員会後援等の承認について	平成30年1月18日
41	寄附の受け入れについて	平成30年1月18日
42	第12回下野市天平マラソン大会の結果報告について	平成30年1月18日
43	教育委員会後援等の承認について	平成30年2月15日
44	寄附の受け入れについて	平成30年2月15日
45	平成29年度全国学力・学習状況調査の分析結果について	平成30年2月15日
46	第2回かんぴくくんカップキンボールスポーツ大会の結果報告について	平成30年2月15日
47	平成30年第1回下野市議会定例会の報告について	平成30年3月23日
48	教育委員会後援等の承認について	平成30年3月23日
49	寄附の受け入れについて	平成30年3月23日
50	平成30年度下野市学校教育計画について	平成30年3月23日
51	平成30年度教育研究所要覧について	平成30年3月23日
52	大松山運動公園拡張整備事業こもれび広場複合遊具等設置工事の公募型プロポーザルの実施について	平成30年3月23日
53	下野オープンキンボールスポーツ大会2018の結果報告について	平成30年3月23日

(3)協議事項 17件

番号	件名	協議日
1	下野市立小中学校教科用図書選定委員会委員の推薦について	平成29年4月13日
2	平成29年度教育委員学校訪問及び幼稚園訪問日程について	平成29年5月18日
3	下野市総合計画審議会委員の推薦について	平成29年6月15日
4	下野市環境審議会委員の推薦について	平成29年6月15日
5	改正社会福祉法に伴う社会福祉協議会新理事の推薦について	平成29年6月15日
6	下野市地域福祉計画推進委員会委員の推薦について	平成29年9月28日
7	第12回下野市教育のつどい開催計画(案)について	平成29年11月16日
8	下野市学校運営協議会規則(案)について	平成29年11月16日
9	国分寺小学校及び国分寺西小学校における再編計画書(案)について	平成30年1月18日
10	下野市小中一貫教育統括コーディネーター設置規則(案)について	平成30年1月18日
11	下野市地域学校協働活動推進員設置規則(案)について	平成30年1月18日
12	下野市小中一貫教育統括コーディネーター設置規則(案)について	平成30年2月15日
13	下野市立小中学校教科用図書選定委員会条例施行規則の一部改正について	平成30年2月15日
14	平成30年度下野市学校教育計画(案)について	平成30年2月15日
15	下野市地域学校協働活動推進員設置規則(案)について	平成30年2月15日
16	下野市公民館振興計画の策定について(答申)	平成30年2月15日
17	下野市人権推進審議会委員の推薦について	平成30年3月23日

## (4) 討議 2件

番号	件名	協議日
1	「下野市における学校運営協議会について」	平成29年11月16日
2	「新学習指導要領の実施に向けて」～本市における学力向上について～	平成29年12月15日

## (5) その他 25件

番号	件名	協議日
1	平成29年度教育委員会主要事業日程について(平成29年4月現在)	平成29年4月13日
2	石橋中学校における改修について	平成29年5月18日
3	平成29年度「年輪のつどい」の実施について	平成29年7月20日
4	平成29年度中学生議会の開催について	平成29年8月17日
5	下野市小中学校音楽祭の開催について	平成29年9月28日
6	しもつけ市民芸術文化祭2017の開催について	平成29年9月28日
7	第10回生涯学習情報センターまつりの開催について	平成29年9月28日
8	自治医科大学公開講座の実施結果について	平成29年10月19日
9	中学生議会だよりについて	平成29年10月19日
10	甲塚古墳出土遺物重要文化財指定記念シンポジウムについて	平成29年10月19日
11	大松山運動公園陸上競技場・管理棟整備工事起工式について	平成29年10月19日
12	平成29年度下野市教職員全体研修会(研究発表会)の開催について	平成29年11月16日
13	第12回下野市南河内地区一周駅伝競走大会(通算36回)の開催について	平成29年11月16日
14	平成29年度第1回プログラミングコンテストの開催について	平成29年11月16日
15	平成29年度卒業式及び平成30年度入学式の出席者について	平成29年12月14日
16	下野市学校運営協議会規則(案)及び下野市学校運営協議会運営マニュアル(案)の修正について	平成29年12月14日
17	第12回下野市天平マラソン大会(通算44回)の開催について	平成29年12月14日
18	第12回教育のつどいの冊子について	平成30年1月18日
19	公民館まつりの開催について	平成30年1月18日
20	平成30年度下野市教育委員会主要日程について	平成30年2月15日
21	平成30年度第1回教職員全体研修会(教育行政説明会)の開催について	平成30年2月15日
22	下野市教職員退職辞令交付式・着任式の開催について	平成30年2月15日
23	平成29年度小中学校卒業記念品寄贈の状況報告について	平成30年3月23日
24	VRを活用した古墳ガイドシステムの導入について	平成30年3月23日
25	下野市小中一貫ハンドブック(試案)について	平成30年3月23日

#### 4. 教育委員会会議以外での活動状況

教育委員は教育委員会会議以外に、学校訪問や各種行事等にも参加しました。

##### (1) 教育委員会連合会等への参加

栃木県市町村教育委員会連合会総会・全体会・研修会

下都賀地区市町教育委員会連合会定例会

下都賀地区市町教育委員会連合会学事視察

下都賀地区市町教育委員会連合会全体研修会

##### (2) 学校訪問及び幼稚園訪問

石橋中学校、石橋北小学校、祇園小学校、国分寺東小学校、石橋幼稚園



国分寺東小学校での授業参観



石橋北小学校での教職員との懇談

##### ◆学校訪問

※各学校の児童生徒数、学級数は平成29年5月1日現在

石橋北小学校	
期 日	平成29年7月12日 午後0時～午後4時00分
児童数・学級数	児童数 210名 学級数 11学級
訪問内容	・ 日程説明 ・ 給食会食 ・ レインボータイム参観 ・ 授業参観 ・ 教職員との懇談会

国分寺東小学校	
期 日	平成29年9月20日 午後0時10分～午後4時
生徒数・学級数	生徒数 288名 学級数 12学級
訪問内容	・ 日程説明 ・ 給食会食 ・ ひがしっ子タイム参観 ・ 授業参観 ・ 教職員との懇談会

石橋中学校	
期 日	平成 29 年 11 月 27 日 午後 0 時 30 分～午後 4 時 30 分
児童数・学級数	児童数 627 名 学級数 23 学級
訪問内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日程説明</li> <li>・ 給食会食</li> <li>・ 輝石祭VTR視聴</li> <li>・ 授業参観</li> <li>・ 学校概要説明</li> <li>・ 教職員との懇談会</li> </ul>

祇園小学校	
期 日	平成 29 年 12 月 15 日 午後 0 時 10 分～午後 4 時 30 分
児童数・学級数	児童数 367 名 学級数 14 学級
訪問内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日程説明</li> <li>・ 給食会食</li> <li>・ 学校概要説明</li> <li>・ 授業参観</li> <li>・ 出前教育委員会</li> <li>・ 教職員との懇談会</li> </ul>

◆私立幼稚園訪問（市内7園の内）

石橋幼稚園	
期 日	平成 29 年 7 月 12 日 午前 10 時 30 分～午前 11 時 30 分
児童数等	園児数 87 名
訪問内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園の概要、教育方針等について</li> <li>・ 施設見学</li> </ul>

◆保護者との懇談会

期 日	平成 29 年 2 月 15 日 午後 7 時～午後 9 時
出 席 者	教育委員 5 名、PTA・学校関係者 32 名、事務局
懇 談 内 容	「学校運営協議会制度への移行について Part2」 ～いよいよスタート～

(3) その他

下野市立小中学校教科用図書選定委員会	下野市人権推進審議会
国分寺学校給食センター運営委員会	下野市都市計画審議会
下野市社会福祉協議会理事	下野市環境審議会
一般財団法人 グリムの里いしばし評議員	他

教育委員会会議以外の活動状況一覧

月	教育委員会会議	各種行事・大会	学校訪問等	その他
4月	1回	学校教職員辞令交付式 教職員全体研修 小学校・中学校入学式 小中校長会		県市町村教育長会議 県市町村教育委員会連合会教育長部会総会 下都賀地区市町教育委員会連合会総会・定例会 市スポーツ推進委員会総会 下都賀地区教育長部会 市地域婦人会解散総会 市教職員協議会 市文化協会総会 B & G 関東地区総会
5月	1回	小学校運動会・中学校体育祭 小中校長会		スポーツ推進審議会 文化財保護審議会 関東地区都市教育長協議会総会 図書館協議会 公民館運営審議会 市スポーツ少年団総会 市教科用図書選定委員会 グリムの里いしばし評議員会 下都賀地区教育長部会 人事問題協議会
6月	1回	小学校運動会・中学校体育祭 市民体育祭テニール大会 小中校長会		市社会教育委員会議 市警察署管内少年指導委員会総会 下都賀地区教育長部会 市国分寺学校給食センター運営委員会
7月	1回	B & G ミニトライアスロン大会 市小学校陸上記録会	石橋幼稚園 石橋北小学校	市教育委員会点検評価外部評価委員会 市社会教育委員会議 下都賀地区教育委員会連合会学事視察 下都賀地区教育長部会 市教科用図書選定委員会 生涯学習推進協議会 下都賀地区市町教育委員会連合会全体研修会 市図書館協議会
8月	1回	市幼稚園連合会しもつけ親子フェスティバル 教職員全体研修会 小中校長会		生涯学習推進協議会 市就学支援委員会 下都賀地区教育長部会 市社会教育委員会議
9月	1回	小学校運動会・中学校体育祭 市民体育祭キンボール大会	国分寺東小学校	下都賀地区教育長部会 県民スポーツ大会選手結団式

教育委員会会議以外の活動状況一覧

月	教育委員会会議	各種行事・大会	学校訪問等	その他
9月	1回	敬老会 市小中学校音楽祭 小中校長会 グリムの森フェスティバル		グリムの里いしばし評議員会
10月	1回	市民体育祭運動会、スポーツフェスティバル 小中校長会 市民芸術文化祭 生涯学習情報センターまつり	児童表彰	下都賀地区教育長部会 下都賀地区市町教育委員会連合会定例会 県市町村教育委員会連合会市教育長部会 下都賀地区小中校長会 人事問題協議会 市社会教育委員会 市就学支援委員会
11月	1回	小中校長会 小・中学校文化祭、市民文化祭	児童表彰 石橋中学校	栃木県市町村教育委員会連合会総会研修会・全体研修会 とちぎ教育振興大会 市ふれあい学習推進委員会 B & G 全国教育長会議 下都賀地区教育長部会 市国分寺学校給食センター運営委員会
12月	2回	市人権教育講演会 南河内地区一周駅伝競走大会 スポーツ少年団SHIPS交流大会	祇園小学校 (出前教育委員会)	下都賀地区教育長部会 公民館運営審議会 市就学支援委員会
1月	1回	天平マラソン大会 成人式、年輪のつどい 新春賀詞交歓会 市教育のつどい 小中校長会 教職員全体研修会		下都賀地区教育長部会 人事問題協議会 市図書館協議会 B&G全国サミット 市社会教育委員会
2月	2回	各館公民館まつり 市内小学校交流キンボールスポーツ大会 小中校長会		下都賀地区教育長部会 下都賀地区市町教育委員会連合会定例会 教育委員と市PTA連絡協議会との懇談会 市国分寺学校給食センター運営委員会 市図書館協議会 スポーツ推進審議会 市ふれあい学習推進委員会
3月	1回	小学校・中学校卒業式 薬師寺史跡まつり 下野オープンキンボールスポーツ大会 小中校長会 学校教職員退職辞令交付式		市生涯学習推進協議会 下都賀地区教育長部会

## 5. 施策ごとの取組状況

平成29年度に実施した事務事業については、平成28年3月に策定された「第二次下野市総合計画」の基本施策に基づき、次に掲げる4つに分類しました。

- (1) 将来を担う人づくり
- (2) 生涯にわたり学べる機会づくり
- (3) 文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり
- (4) 市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり

教育委員会においては、各課3事業を選定し、「平成30年度教育委員会の点検・評価シート（平成29年度事業）」を作成し、内部で点検・評価を行い、その後、外部評価をいただき意見をまとめました。

### (施策1) 将来を担う人づくり

#### <基本方針>

小中学校の教育においては、学校・家庭・地域が連携し、地域に開かれた特色ある教育環境づくりを目指すとともに、確かな学力を育成するため、学ぶ力・豊かな心・健やかな体を育む創意工夫ある教育活動を展開します。併せて学習機器の整備など教育環境の向上を図ります。

学校適正配置については、地元住民と保護者との連携を図りながら、小規模特認校制度や小中一貫教育を推進するとともに、子どもたちの安全確保のために通学路整備等の課題に取り組みます。

また、下野市の特色ある取組の一つである「児童表彰」については、子どもたちの自己有用感を育むため継続的に実施していきます。

なお、学校施設の整備については、学校の適正配置や義務教育学校の導入等を視野に入れつつ、効率的かつ計画的な整備を推進します。

#### <H29年度事業一覧>

教育総務課	<ul style="list-style-type: none"><li>○教育委員会運営事業</li><li>○児童表彰事業</li><li>○教育委員会点検評価事業</li><li>○教育のつどい事業</li><li>○教育総務運営事業</li><li>○教育環境管理事業</li><li>○学校適正配置推進事業</li><li>○奨学金貸付事業</li><li>○教育情報ネットワーク活用事業</li><li>○小中学校給食共通管理事業</li></ul>
-------	--

<p>教育総務課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学校給食備品整備事業</li> <li>○学校給食センター管理事業</li> <li>○小中学校施設管理事業</li> <li>○小中学校施設整備事業</li> <li>○小中学校コンピュータ管理事業</li> <li>○石橋北小学校プール改修事業</li> <li>○古山小学校プール施設改修事業</li> <li>○国分寺東小学校トイレ改修事業</li> <li>○国分寺中学校プール施設改修事業</li> <li>○石橋中学校大規模改修事業</li> <li>○中学校施設空調整備設置事業</li> <li>○南河内中学校校舎大規模改修事業</li> </ul>
<p>学校教育課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育運営事業</li> <li>○児童生徒就学援助費事業</li> <li>○スクールアシスタント配置事業</li> <li>○幼稚園・保育園・小学校連携事業</li> <li>○教育研究振興事業</li> <li>○下野子ども力発動プロジェクト事業</li> <li>○エス・アンド・ユーラボ事業</li> <li>○児童生徒英語教育推進事業</li> <li>○小中学校教科用図書選定事業</li> <li>○ユースサポート事業</li> <li>○特別支援教育推進事業</li> <li>○学校教育サポート事業</li> <li>○小中一貫教育推進事業</li> <li>○小中学校給食管理事業</li> <li>○学校食育推進事業</li> <li>○小中学校共通管理事業</li> <li>○小中学校管理事業</li> <li>○小中学校教育振興事業</li> <li>○確かな学力と芸術推進事業</li> <li>○小学校教科書改訂事業</li> </ul>

## (施策2) 生涯にわたり学べる機会づくり

### <基本方針>

生涯学習推進計画に基づいて、多様な学習機会を通じた市民の自己実現と交流、学習成果の社会還元による協働のまちづくりを支援し、生涯学習による下野市の文化づくりを推進します。

公民館・図書館等においては、家庭教育やまちづくりに関する学習の提供、また、様々な資料や情報、学習機会の提供により、市民の社会参加意識の高揚及び学習活動の支援を行います。

さらに、ふれあい学習やファミリエ市民運動等、学校・家庭・地域との連携による子どもの健全育成を推進します。

### <H29年度事業一覧>

生涯学習文化課	<ul style="list-style-type: none"><li>○社会教育総務事務事業</li><li>○生涯学習推進事業</li><li>○社会教育事業</li><li>○青少年育成事業</li><li>○人権教育事業</li><li>○市民情報化推進事業</li><li>○生涯学習による協働のまちづくり支援事業</li><li>○家庭教育事業</li><li>○生涯学習情報センター管理運営事業</li><li>○生涯学習情報センター施設修繕事業</li><li>○公民館管理運営事業</li><li>○公民館施設修繕事業</li><li>○図書館共通管理運営事業</li><li>○図書館施設修繕事業</li></ul>
---------	--

**(施策3) 文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり**

＜基本方針＞

市民が文化的に豊かな市民生活を送ることができるよう、文化協会等の文化団体の活動を支援し、市民の文化芸術活動を推進します。

グリムの森・グリムの館においては、利用者の満足度を高め魅力ある運営を行うとともに、優れた文化芸術に親しむ機会を広く提供し、本市の芸術文化を支える中核施設として利用の促進を図ります。また、文化芸術施設の整備についても引き続き検討を進めます。

本市に所在する多数の文化財や地域の伝統行事など、文化遺産の保存・活用を図るため歴史文化基本構想による「東の飛鳥プロジェクト」を進めます。

下野薬師寺をはじめとする国指定史跡の継続的な保存整備、文化財の展示収蔵施設の改修整備を推進するとともに、未指定文化財の保存・活用に向けた継続的な調査を実施します。また、学校教育（ふるさと学習）の支援や文化財ボランティア等の人材育成、文化遺産による観光振興など文化遺産の総合的な活用によるまちづくりを推進します。

＜H29年度事業一覧＞

生涯学習文化課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○芸術文化事業</li> <li>○グリムの森・グリムの館管理事業</li> <li>○グリムの館施設整備事業</li> <li>○グリムの森施設整備事業</li> </ul>
文化財課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財保護事業</li> <li>○デジタルミュージアム運営事業</li> <li>○下野薬師寺跡保存事業</li> <li>○下野薬師寺跡整備事業</li> <li>○下野国分寺跡保存事業</li> <li>○下野国分寺跡整備事業</li> <li>○下野国分尼寺跡樹木管理事業</li> <li>○市内遺跡発掘調査事業</li> <li>○文化財活用・広報普及事業</li> <li>○東の飛鳥プロモーション事業</li> <li>○下野薬師寺歴史館管理運営事業</li> <li>○しもつけ風土記の丘資料館管理運営事業</li> <li>○しもつけ風土記の丘資料館整備事業</li> </ul>

#### (施策4) 市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり

##### <基本方針>

下野市スポーツ推進計画に基づき、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう生涯スポーツ活動の充実を図ります。また、市民が集い、多種目のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる総合的な運動公園としての大松山運動公園の整備を推進するとともに、老朽化が進む既存の施設についても、バリアフリーを考慮し耐震補強・改修等の環境整備を進めます。

##### <H29年度事業一覧>

スポーツ振興課	<ul style="list-style-type: none"><li>○保健体育総務事務事業</li><li>○スポーツ振興事業</li><li>○市民体育祭開催事業</li><li>○総合型地域スポーツクラブ活動支援事業</li><li>○体育施設管理事業</li><li>○体育施設改修事業</li><li>○大松山運動公園拡張整備事業</li></ul>
---------	---

## 6. 評価シート総括表（H29年度事業）

課 名	事 業 名	事業費(千円)	ページ
教育総務課	スクールガード事業	388	19
	石橋中学校大規模改修事業	52,750	19
	学校情報化検討支援事業	6,686	20
学校教育課	児童生徒英語教育推進事業	23,125	22
	小中一貫教育推進事業	10,085	23
	確かな学力と芸術推進事業	12,202	24
生涯学習文化課	図書館共通管理運営事業	101,485	26
	社会教育事業	1,129	27
	南河内公民館改修事業	89,994	27
文化財課	東の飛鳥プロモーション事業	39,096	30
	下野市の歴史文化を活用した観光振興事業	12,117	30
	仁良川古墳群発掘調査事業	4,988	31
スポーツ振興課	スポーツ振興事業	15,628	33
	大松山運動公園拡張整備事業	1,040,356	34
	国分寺B&G海洋センター改修事業	178,136	35

## 7. 外部評価委員会の開催

上記の事業について外部評価委員会を開催（平成30年6月28日・7月11日）

- 外部評価委員会への全体説明と点検評価
- 外部評価委員による協議・まとめ

## 8. 評価シート個別表（次ページより）

## 平成30年度 教育委員会の点検・評価シート(平成29年度事業)

### 教育総務課

#### (1) スクールガード事業 (事業費: 388千円)

基本施策	将来を担う人づくり
基本方針	学校・家庭・地域が連携し、地域に開かれた特色ある教育環境づくり
方向性	快適な教育環境の充実を図るための整備等を推進します。
事業内容	登下校時における交通事故から子どもたちを守るため、道路の横断や危険箇所での見守りを実施しているスクールガードボランティアの支援や学校内外を定期的に巡回し子どもたちを犯罪等から守るための活動を行っているスクールガード・リーダーを配置する。
実施状況	<p>(1) 小学校ごとに登録されている503名のスクールガードボランティア(保護者や地域の協力者等)を支援するため、ボランティア保険への加入手続きを実施した。</p> <p>(2) 立哨を行っているスクールガードボランティアの安全を確保するため、防犯パトロールベスト(反射素材)を配付した。 平成29年 33着(新規登録者・減価償却用) ※参考:平成28年 170着、誘導灯80本配付</p> <p>(3) 市内小学校の新入生に対し、身を守るための防犯ホイッスルを購入し配付した。 平成29年 540個</p> <p>(4) スクールガード・リーダーを石橋・南河内・国分寺の各地区に1名配置し、研修会等へ参加、定期的な市内巡回、学校や行政との連絡調整等を実施した。 ※地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金の対象(県補助率2/3)</p> <p>(5) 下野市通学路安全推進会議を開催し、危険箇所の合同点検や学校からの通学路整備要望書について専門的見地から協議・検討を行い、対応や継続事業の進捗管理を行った。</p>
評価及び今後の取組	<p>平成29年度よりスクールガード・リーダーを石橋地区・南河内地区・国分寺地区の3地区にそれぞれ1名を配置し、迅速で細やかな対応が可能となった。また、通学路の整備要望書については、事前に内容ヒアリングを実施することで、安全推進会議の圧縮・充実が図られた。</p> <p>今後は各学校に設置された「学校運営協議会」を通して、地域の協力を得ながらスクールガードボランティア活動を活性化し、新たな安全対策についても検討いただくなど、地域ぐるみの見守りを一層強化していきたい。</p>

#### (2) 石橋中学校大規模改修事業 (事業費: 52,750千円)

基本施策	将来を担う人づくり
基本方針	学校・家庭・地域が連携し、地域に開かれた特色ある教育環境づくり
方向性	快適な教育環境の充実を図るための整備等を推進します。
事業内容	平成6年に竣工した校舎については、経年劣化による老朽化をはじめ、鳥等の糞害による不衛生な状況など、劣悪な学習環境となっているため、生徒にとっての安全安心な環境を確保すべく、大規模改修を行う。
実施状況	<p>【石橋中学校校舎大規模改修に伴う実施設計業務委託の実施】</p> <p>○業務委託内容</p> <p>平成30年度から2ヶ年をかけて実施する大規模改修工事に向けた実施設計書の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状外部となっている部分にサッシを設置する屋内化工事設計</li> <li>・内装、外装改修設計</li> <li>・電気設備、給排水設備の改修設計</li> <li>・特別教室等の空調設備の更新及び理科室への新設設計</li> <li>・トイレ改修設計</li> <li>・仮設校舎建設設計</li> </ul>

評価及び今後の取組	<p>実施設計書の作成に当たっては、学校側との協議を重ねながら改修に向けて進めることができた。</p> <p>今後は、平成30年度より2ヶ年継続事業として大規模改修工事を実施し、生徒にとって安心して快適な教育環境の確保を図っていきたい。</p>
-----------	--

### (3) 学校情報化検討支援事業 (事業費: 6, 686千円)

◇継続評価事業

基本施策	将来を担う人づくり
基本方針	学校・家庭・地域が連携し、地域に開かれた特色ある教育環境づくり
方向性	快適な教育環境の充実を図るための整備等を推進します。
事業内容	<p>厳しい財政状況の中で、多額の財政負担を伴う学校情報システムの調達のあり方について、関連経費の削減や、調達方法等を見直しによる費用対効果の最大化を図るために行った、専門的知識を有した第三者による評価・検証に基づき、機器の入替を行った。</p>
実施状況	<p>今回、国分寺地区の4校(小学校3校、中学校1校)の入替を行った。入替は、①サーバー機器、②児童生徒用パソコン、③校務(教師)用パソコン、④ネットワーク機器(無線LAN)に分けて発注した。発注に際しては、次のとおり調達方法の見直しを行った。</p> <p>(1)パソコンのタブレット化 児童生徒用、校務用のパソコンを入れ替える際、ノートパソコンをタブレットにしたことにより安価に導入することができた。また校務用タブレットを普通教室に持ち込み使用することができるようになったため、いままで普通教室に配備されていたパソコンの分、入替台数を削減することができた。</p> <p>(2)「機器調達」と「機器設定」の分離発注 これまでは、「機器調達」と「機器設定」をまとめて発注していたため、「機器調達」はできても、「機器設定」はできないという業者が参入できず、競争環境が生まれにくい状況だった。今回、発注を分割することにより、「機器調達」に対応可能な業者が参入することができ、より安価に落札することができた。</p>
評価及び今後の取組	<p>平成28年度の検討に基づき、機器の精査や調達方法の変更を行ったことにより、費用対効果の向上及び経費削減効果を見込むことができた。</p> <p>今後、南河内地区・石橋地区の機器入替も行っていく予定だが、国分寺地区と同様に経費削減とともに費用対効果の向上に努めていきたい。</p>



新たに導入したタブレット PC



タブレット PC を利用した授業 (国分寺中学校)

## 教育総務課の事業に対する外部評価委員の意見

☆ 今後検討を要する事項

### (1) スクールガード事業

- 各小学校のスクールガードボランティア活動を支援するため、教育委員会として多様な対応を行うと共に、通学路の安全確保のため、行政の垣根を超えた、きめ細やかな対策を講じていることを高く評価する。
- 無償ボランティアの善意に頼るだけでなく、500名を超えるスクールガードボランティア全員の保険加入を実施していることを評価する。
- スクールガード・リーダーを3地区に1名ずつ配置し、定期的な市内巡回や学校・行政との連絡調整を図っていることを評価する。
- ☆ 子どもたちの安全と防犯は地域との連携が不可欠であり、学校を基盤とするスクールガードボランティアと地域を見守るスクールガード・リーダー等との連携が、今後一層、密になることを期待する。
- ☆ 補助金を活用した事業であるが、地域ぐるみの見守りを強化するため、スクールガード・リーダーの増員をお願いしたい。

### (2) 石橋中学校大規模改修事業

- 衛生面や寒さ対策など、困難な課題を乗り越え、大規模改修に向け実施設計書を作成したことは、生徒たちの快適な学習環境を提供するという、担当者の熱意が伺え評価に値する。
- 学校と協議しながら改修計画が進められ、仮設校舎で3年間を過ごすことがないよう、工期を2か年にするなど生徒に対する配慮も見られ、高く評価したい。
- ☆ 耐用年数の約半分で大規模改修となった原因の一つは、そのデザインによるところが大きい。今後、学校の改修や建設の計画にあたっては、子どもたちの安全確保と機能性を最優先されることを希望する。
- ☆ 学校は生徒にとって最高の学習環境でなくてはならない。鳥の糞害など衛生面での課題が発生した段階で改修の対策が必要だったことを考えると、対応が少し遅かったように感じる。

### (3) 学校情報化検討支援事業【継続評価事業】

- 前年度の調査結果を基に、導入機器の精査と調達方法を検討・実施したことにより、経費が大幅に削減されたことを評価する。
- 今後、予定されている南河内地区の7つの小中学校、石橋地区の5つの小中学校の情報機器の入替えについても、きめ細やかなデータ分析を実施し、国分寺地区同様に経費節減を図られることを期待する。
- ☆ 小学校5・6年生の学級数が40人である現状と、今後児童数が減少していくことを考慮すると、今回の導入台数が45台と多めに設定している点は見直しが必要である。
- ☆ 南河内地区及び石橋地区の情報機器入替えの際には、学校現場とよく協議を行い、必要最小限の数で賄えるよう、5年ごとのリース更新時の経費等も視野に入れながら実施していただきたい。

## 学校教育課

### (1) 児童生徒英語教育推進事業 (事業費: 23, 125千円)

◇継続評価事業

基本施策	将来を担う人づくり
基本方針	学校・家庭・地域が連携し、地域に開かれた特色ある教育環境づくり
方向性	国際社会で生きる一員として、英語を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童生徒の育成を図る。
事業内容	<p>2020年度から小学校高学年で教科化となり、中学校においては更に英語運用能力の育成が重視される。指導体制の整備と研修等の充実により、児童生徒の英語力向上、教師の授業力向上を目指す。</p> <p>(1) 児童生徒の英語力向上のための外国語指導助手の配置や各種イベントの企画                  (2) 教員の指導力向上のための研修の充実と指導主事による学校訪問指導</p>
実施状況	<p>(1) 児童生徒の英語力向上に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SEF(サマー・イングリッシュ・ファン)の実施 (市役所にて2日間開催。約300名の小学生が参加)</li> <li>・SEA(サマー・イングリッシュ・アドベンチャー)の実施。 (下野市蔓巻公園にて1日開催。約50名の小中学生が参加)</li> <li>・JTE3名・ALT6名による小学校外国語活動と中学校英語の授業補助 (全小学校への JTE 配置)</li> <li>・英語検定試験の半額補助(中学生対象・年1回) H29 年度 160 名申請</li> </ul> <p>(2) 教員の指導力向上に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育推進プロジェクト委員会(年6回の実施、H29～H30年度)の設置</li> <li>・全ALTによる小学校への学校訪問研修(全小学校・年1回夏休み中実施)</li> <li>・ゆうがお CAFE(月1回市役所にて開催・小中教員希望者対象)</li> <li>・小中学校授業研修(年2回実施・国分寺小学校、国分寺中学校にて)</li> <li>・指導主事による全小中学校での授業参観</li> <li>・ALT 研修(年6回・授業研究会を含む)</li> <li>・中学校教員研修(年2回・英語指導全教員対象)</li> </ul>
評価及び今後の取組	<p>ALTや増員したJTEの配置により、小学校の外国語活動全授業においてチームティーチングの授業を展開することができた。また、コミュニケーション能力の育成を目指した授業の質を向上させることにより、児童生徒の英語に対する興味・関心を高めることができた。</p> <p>今後、児童生徒の学習意欲及び英語力の向上を図るために、JTE や ALT との連携を更に図り、指導力向上のための研修を充実させる。また、英語教育推進プロジェクト委員会における提案事項を市内全体で周知し、小中一貫した英語教育を展開させるための取組の一つとして、「しもつけ未来学習」テキストを作成し、平成31年度から開始できるよう整備を行う。</p>



サマー・イングリッシュ・ファン



サマー・イングリッシュ・アドベンチャー

## (2)小中一貫教育推進事業 (事業費:10,085千円)

基本施策	将来を担う人づくり
基本方針	学校・家庭・地域が連携し、地域に開かれた特色ある教育環境づくり
方向性	学校適正配置及び小中一貫教育等を推進します。
事業内容	<p>平成20年度より推進してきた小中連携教育をさらに発展させ、平成31年度からの小中一貫教育の全面実施に向け、各中学校区の実態に応じて実践研究を進める。</p> <p>南河内中学校区に創設する義務教育学校の基本構想を策定し、教育の基本方針、学校教育の理念、整備に関する基本的事項等を示す。また、開校に向け総合的な施設等の整備方針を定める基本計画の策定に着手する。</p> <p>平成30年度を以て再編となる国分寺西小学校と国分寺小学校を実践研究校に指定し、合同学習、行事等を実施し、調査研究を行う。</p>
実施状況	<p><b>【市小中一貫連携教育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各中学校区で目指す子ども像を設定、さらに小中一貫教育の重点項目を設定した。それらの重点項目に基づいた実践を実施し、年度末にまとめ、全中学校区で共有した。</li> <li>○推進を図るため、平成29年度までの実践内容を踏まえ、基本的な考え方や方策をまとめた小中一貫教育推進ハンドブック(試案)を作成した。</li> </ul> <p><b>【南河内中学校区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○義務教育学校基本構想策定 8月</li> <li>○協議会開催 6/27(基本構想素案協議)、7/24(基本構想案決定)、3/19(基本計画素案決定)</li> <li>○説明会 4/15(南子連)、11/25(地域・保護者)</li> <li>○義務教育学校整備現況測量 契約額 2,862 千円、工期 10/26～1/30</li> <li>○義務教育学校整備基本計画 契約額 3,294 千円、工期 11/22～5/31</li> </ul> <p><b>【国小・国西小合同事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小中一貫教育実践研究校として合同事業を開催。 計 12 回(うち借上げバス 5 回):合唱交流、未来プロジェクト、ふるさと学習、臨海自然教室</li> </ul>
評価及び今後の取組	<p>市小中一貫連携教育では、小中学校の情報交換や児童生徒の交流活動により、児童の不安解消、9年間のつながり等を再確認することができた。また、推進指針となるハンドブック(試案)を作成することができた。義務教育学校整備基本計画は、基本構想策定後、業者選定を行い、策定に向け着手することができた。国小・国西小の合同事業は、再編に向けて合同学習や交流活動を計画どおり実施し、推進が図れた。</p> <p>平成30年度は、小中一貫教育推進ハンドブックに基づいて、下野市学校教育目標具現化のために、各中学校区の実態に応じた実践を進める支援を行うとともに、9年間を通じた系統的な指導計画の編成・見直しを行う。また、市全体の推進を図るため市小中一貫教育推進協議会を設置するとともに、小中一貫教育統括コーディネーターを配置し、各中学校区支援、連絡調整等を行う。さらに、『小中一貫の日』を設定し、各中学校区での推進体制の強化を図る。南河内中学校区においては、平成30年度へ繰越事業となった義務教育学校整備基本計画について、早期の策定を目指す。国西小は学校再編の最終年度となるため、平成29年度の取組状況を踏まえ、相互理解と再編が円滑に進むよう学年ごとの授業や行事による交流の場を増やす。</p>

### (3) 確かな学力と芸術推進事業 (事業費: 12, 202千円)

基本施策	将来を担う人づくり
基本方針	学校・家庭・地域が連携し、地域に開かれた特色ある教育環境づくり
方向性	快適な教育環境の充実を図るための整備等を推進します。
事業内容	<p>文科省が進める「教育のIT化に向けた環境整備4か年計画」により授業におけるICT活用(電子黒板等)を図り、児童生徒にわかる授業を提供する。</p> <p>そのために、小学校においては外国語活動の時数増に対応して、普通教室でもデジタル教材を使っての外国語活動ができるように機器整備する。</p> <p>中学校においては平成28年度に全中学校に英語と理科のデジタル教科書を導入した。中学校にはそれらの教材を活用するための大型ディスプレイの導入を行う。さらに大型ディスプレイとタブレットをセットにし、デジタル教科書と合わせて電子黒板と同等の機能を有した機器による授業が展開できるようにする。</p>
実施状況	<p>○購入した備品は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型ディスプレイ(液晶 TV)……………54台(中学校+サポートセンター)</li> <li>・モニタスタンド・棚板……………54台(中学校+サポートセンター)</li> <li>・10インチWindowsタブレット……………65台(小学校12+中学校53)</li> <li>・ワイヤレスアダプター……………62台(小学校 9+中学校53)</li> <li>・その他必要なケーブル・タップ類を購入</li> </ul> <p>○購入した備品は夏休み中に各校へ導入し、設置及び設定した。</p> <p>○9月より授業で使用開始。情報教育アドバイザーや市教委担当指導主事による研修を実施し、活用促進を図った。</p> <p>○3月には各校での大型ディスプレイやタブレットを活用した事例を収集し、活用資料としてまとめた。</p>
評価及び今後の取組	<p>予定していたサイズよりも大型のディスプレイを導入することができ、夏休みを利用して導入・設置を完了した。小中学校だけでなく、サポートセンターにも大型ディスプレイを導入することができた。各教室に大型ディスプレイが設置された中学校においては、大型の提示装置にタブレットを無線で接続することができ、多くの授業でICTを活用した授業が展開されるようになった。ICT使用率のアンケートでは、使用率が上がったと回答した教員は約64%であった。特に英語の教員については15人中14人が上がったと回答している。小学校では、使用率が上がったと回答した教員は約72%であった。全体的なICT機器使用率の向上が認められたが、小学校では1週間あたりのICT使用授業数は平均で5コマに留まった(中学校は約8コマ)。</p> <p>平成29年度は小学校には1台だけのタブレット導入であったので、平成30年度は全普通教室数にタブレットを導入し、デジタル教科書や外国語指導教材を活用した授業をさらに推進する。</p>

# 学校教育課の事業に対する外部評価委員の意見

☆ 今後検討を要する事項

## (1)児童生徒英語教育推進事業【継続評価事業】

- 昨年の評価に基づき、JTEを増員し全校に配置したり、ALTの指導力向上のために研修会を増やすなど、児童生徒の英語力向上に努められたことを高く評価する。
- 英語検定試験の半額補助制度を導入することで、生徒の学習目標を高め、英語習得の機会を拡大したことは評価に値する。
- 小学生が自主的、意欲的に楽しんで参加できるサマー・イングリッシュ・アドベンチャー等の新規事業を実施したことは、地域に開かれた教育環境づくりにとって非常に前向きであり、素晴らしい取組である。
- ☆ 2年後の外国語必修化(3・4年生)や教科化(5・6年生)に伴い、教師の授業時間の確保やゆとりが少なくなることが懸念されるため、更なる学校教育課のサポートを期待したい。

## (2)小中一貫教育推進事業

- 各中学校における目指す子ども像や重点目標の設定、小中一貫教育コーディネーターの配置など、義務教育9年間を見通した教育の基盤整備が図られたことを評価する。
- 小中一貫教育を推進するうえでの基本的な考え方をまとめた「小中一貫教育推進ハンドブック(試案)」を作成し、教師が共通認識のもと小中一貫教育が進められるよう指針を示したことを評価する。
- 南河内中学校区小中一貫教育推進協議会を運営し、地域や保護者の理解を得ながら、限られた時間内で義務教育学校の基本構想策定まで漕ぎつけたことを評価する。
- ☆ 小中一貫教育の全体計画の編成にあたっては、各地区の推進形態に合致するよう、地域の実態を十分把握して作成されることを希望する。
- ☆ 平成31年度の小中一貫教育全面実施に向け、教員の指導力向上と各学校間との情報共有を進めるため、次年度から実施する『小中一貫の日』を有効に活用していただきたい。

## (3)確かな学力と芸術推進事業

- 教育のIT化に向けた環境整備のため、大型ディスプレイとPCタブレットを、市内中学校の全教室、小学校とサポートセンターに各1台ずつ導入し、授業の改善に努められたことを評価する。
- 調べ学習において、ネットの情報に偏ることなく、図書から得られた情報を相互に見比べながら、子どもたち自ら考えさせる授業を進めている点は評価に値する。
- ☆ 導入当初におけるICT利用率は、中学校で64%、小学校で72%と高い水準になっているが、多忙により準備が大変になると、利用を敬遠する傾向が出るため、継続的な活用を維持していただきたい。
- ☆ ICTの活用事例を広く周知し、教師に対する情報機器の取扱いについても、定期的な説明会を開催するなど、効果的に活用していただきたい。

## 生涯学習文化課

### (1) 図書館共通管理運営事業 (事業費:101,485千円)

◇継続評価事業

基本施策	生涯にわたり学べる機会づくり
基本方針	市民の自己実現の支援と交流・学びを活かす環境づくり
方向性	生涯にわたる多様な学習機会を提供するため、生涯学習実施機関の機能充実を図ります
事業内容	市民の読書意欲に応えると共に地域文化の発展に寄与するなど、地域ボランティアと協働し、親しみやすい明るい図書館となるよう事業活動を推進する。また、生涯学習の拠点として市民の学習意欲や日常生活に役立つため、図書館システムによる資料の効率的な活用を図る。
実施状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>「下野市図書館基本計画」に基づいた「下野学歴史講座／教養講座～下谷田遺跡について(石橋館)」「古文書講座～江戸時代、小金井宿の古文書を読み解く(国分寺館)」「県政出前講座「とちぎの百様」(南河内館)」等を開催し、郷土の歴史や文化を学ぶ機会を提供した。その他、3館で開催した講座・講演会・催し物も合わせて6,511名の参加があった。</li> <li>「下野市図書館基本計画」に沿って、外部評価委員による「図書館評価」を実施し、図書館運営のさらなる改善に努めた。また、内部評価と外部評価の差が大きいという問題点に関しては、外部評価をもって総合評価とした。</li> <li>平成24年度に導入した図書館システムが平成29年12月31日をもってリース期間が終了することから、図書館システムの再構築を図るために、図書館管理システム委託業務(更新)の業者をプロポーザル方式により選定した。システム更新に伴い、平成30年1月よりホームページのリニューアルの他、ツイッターによる情報発信を開始した。また、システムでのパスワード登録により、本・紙芝居・雑誌をホームページから1回延長することが可能となった。</li> <li>下野市小中学校の図書館訪問の他、学校図書館担当職員等と連携し、子どもの読書推進のための研修会や意見交換会を行い、学校図書館支援を実施した。</li> </ol>
評価及び今後の取組	<p>図書館システムの更新に伴う、ホームページのリニューアルにより、ホームページへの訪問者数が月平均2.4倍(1,635件→3,956件)となった。また、インターネット予約数も前年比122%増となった。今後もインターネットによる資料の効率的な活用や情報提供を行い、市民サービスの向上に努めたい。</p> <p>平成29年度より石橋図書館が統括館となり、市職員が図書館の総括的運営管理、指定管理者の業務の進捗管理、3館の特性を活かした総合的な蔵書管理、市内小中学校の図書館訪問等を行ってきたが、次年度以降も学校支援の充実を図っていく。</p>

## (2)社会教育事業 (事業費:1, 129千円)

基本施策	生涯にわたり学べる機会づくり
基本方針	市民の自己実現の支援と交流・学びを活かす環境づくり
方向性	学校・家庭・地域の連携による地域全体の教育力の向上を目指します
事業内容	市民がより豊かな生活を送るために、主体的に学習活動に取り組む意欲を触発するとともに、地域社会の実情に応じた多様な学習機会・情報等を提供する。
実施状況	<p>1. 成人式の開催 毎年、満20歳に達した青年男女に対し、成人を迎えた喜びと社会人としての門出を祝福し、激励するため実施した。新成人の中から実行委員を募り、式典運営に当たっていただいた。 ・参加人数 487人</p> <p>2. 年輪のつどいの開催 人生の節目を迎え、セカンドライフをスタートさせた方を対象に、社会参加・地域参加に取り組むきっかけ作りと、同世代で集い、交流を深め今後の人生をより充実したものにさせていただくことを目的に実施した。また、会場内に市内4公民館の自主サークルグループが手作りした活動紹介チラシを掲示し、加入促進を図った。対象者の中から実行委員を募り、記念事業の企画立案及び当日の運営に当たっていただいた。 ・参加人数 79人</p> <p>3. 婚活コミュニケーションカスキルアップ講座『自分魅力アップ講座』の開催 生涯学習による婚活支援事業として、マナーや話し方など婚活に関するコミュニケーションカスキルアップのための学習の場を提供した。 ・申込人数 20人(男性12人, 女性8人) ・参加延べ人数 24人(男性15人, 女性9人)</p>
評価及び今後の取組	<p>年輪のつどいと婚活コミュニケーションカスキルアップ講座は本年度新規事業であった。年輪のつどいは、参加者からは「よい企画だった」と好評をいただいたが、もっと多くの方に参加いただけるよう内容を検討するとともに、目的としている「地域参加」や「社会参加」につなげるため、公民館講座等により、継続してまちづくりに関心を持っていただけるような学習機会の場の提供をしていく。</p> <p>婚活コミュニケーションカスキルアップ講座は、下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策の一つとなっており、婚活だけでなく仕事にも役立つ基本的マナーの習得とともに、受講生が婚活への意欲が高まるような講座を実施していく。</p>

## (3)南河内公民館改修事業 (事業費:89, 994千円)

基本施策	生涯にわたり学べる機会づくり
基本方針	市民の自己実現の支援と交流・学びを活かす環境づくり
方向性	生涯にわたる多様な学習機会を提供するため、生涯学習実施機関の機能充実を図ります
事業内容	南河内公民館は昭和53年度の建設から37年が経過し老朽化が著しいが、生涯学習の中核施設の一つとして、また、災害時における避難所であることから、大規模改修を実施して安心安全を確保し、有効に活用できる施設として整備する。

実施状況	<p>○防水修繕工事(屋根、外壁等の防水)、トイレの改修等、工事管理業務委託等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 陸屋根(平場)部分は既存シート防水の上に新たにシート防水を施し、R 屋根部分はシート防水撤去した後、ウレタン塗膜防水を施した。</li> <li>2. 外壁は、ひび割れ部分をU字型に線上にカットしてシーンを打ち、セメント材で平滑にし、ひび割れの補修及びシーリング材の撤去をした後、新たにシーリング材を設置した。塗替え塗装を行った。</li> <li>3. トイレは、衛生器具を洋式便器へ更新した。また、タイルを撤去して床をシート仕上げに更新し、モップでの清掃を可能にした。(ドライ方式)</li> </ol>
評価及び今後の取組	<p>風除室やエントランスホールの照明器具追加及び天井の一部改修、身障者トイレドアの改修、外部スロープ手摺の改修等を追加実施して一期工事を完了し、使用者への利便性が向上されたが、公民館として開館しながらの改修工事は、使用者へ騒音、振動、安全面等で多大な迷惑をかけることになった。</p> <p>30年度の二期工事は、施工期間中を休館とし、工事の作業効率を上げ、電気設備及び空調設備の改修工事や天井張替工事等の年内の完了を目指す。</p>

## 生涯学習文化課の事業に対する外部評価委員の意見

☆ 今後検討を要する事項

(1)図書館共通管理運営事業【継続評価事業】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年度は、評価における内部評価と外部評価の差が課題となっていたが、本年度は外部評価に一本化し、厳正な評価を実施したことは、意見に対する真摯な姿勢として高く評価したい。</li> <li>○ 図書館システムを更新し、ホームページをリニューアルした結果、ホームページ来訪者が倍以上(月平均)となり、ネット予約者の増加にも寄与したことを評価する。</li> <li>○ 児童生徒の読書力を高めるため、学校図書館への訪問を実施し、司書教諭との意見交換会や研修会を積極的に行うなどの工夫が見られたことを評価する。</li> <li>☆ 現在、石橋館の休館日は金曜日、南河内館と国分寺館の休館日は月曜日になっているが、可能であれば3館の休館日を分散するよう検討していただきたい。</li> <li>☆ 公立図書館や学校図書館における、図書館ボランティアの積極的な活用を推進していただきたい。</li> </ul>
(2)社会教育事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成人式は新成人の中から実行委員会を立ち上げ、式典運営を行っているため、仲間意識が高く結束が固いため、どの会場においても混乱なく落ち着いた式典になっていることを評価する。</li> <li>○ 新規事業としての「年輪のつどい」は、参加者から好評の声が届いており、セカンドステージを迎えた方々が地域の壁を超えて交流し、社会参加を促すきっかけづくりとなったことを評価したい。</li> <li>○ 高齢化が進む中、生涯学習の機会づくりが多岐にわたって進められ、土地柄、自治医科大学等の専門的な公開講座等が受講できることは、市民にとって喜ばしいことである。</li> <li>☆ 成人式においては、もっと多くの方に参加していただけるような工夫や企画を検討していただきたい。また、年輪のつどいについては、情報の発信が足りなかったようなので次年度に向け改善をお願いしたい。</li> <li>☆ 成人式の招待者には中学校3年時の担任等が出席しているが、可能であれば小学校6年時の担任等も出席できると良い。</li> </ul>

### (3)南河内公民館改修事業

- 市の公民館は、地域の文化センター的な役割を担っているが、どの施設も合併前に建築された建物で老朽化が著しい。施設としての寿命延長と利用者の利便性を図ろうとする今回の改修を評価する。
- 公民館を開館しながらの施工は、騒音などの課題も生じたが、不便を最小限に留めたいという事務局の姿勢が見て取れる。次年度の二期工事は休館にするとのことであるが、完了を12月中にするなど、成人式に間に合うように配慮している点は評価したい。
- ☆ 休館中に利用者が他へ移ってしまう恐れがあるため、工期(休館日)の周知と改修後の利用者拡大に努めていただきたい。
- ☆ 公民館は災害時の避難場所にもなっているため、施設内外の安全確保には計画的かつ継続的に取り組んでいただきたい。



成人式 (石橋地区)



成人式 (南河内地区)



成人式 (国分寺地区)



年輪のつどい (開会のことば)



年輪のつどい (しの YAN&ふらいぱん)

## 文化財課

### (1) 東の飛鳥プロモーション事業 (事業費: 39, 096千円)

◇継続評価事業

基本施策	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり
基本方針	市民の自己実現の支援と交流・学びを活かす環境づくり
方向性	歴史遺産の保存・整備・活用を推進します。
事業内容	<p>これまで整備してきた史跡・文化財のさらなる活用促進による観光資源の創出を目的として、総務省の地方創生拠点整備交付金を活用する事業。</p> <p>H28 年度実施の下野薬師寺跡 VR アプリ製作に引き続き、史跡のガイダンス施設である歴史館のリニューアルを行い、来館者増を目指す。</p>
実施状況	<p>これまで休憩ホールが狭小であったため、多目的ホール及び倉庫の増築により、利便性の向上を図った(面積: 多目的ホール 73 m<sup>2</sup>(既存 36 m<sup>2</sup>+増築 37 m<sup>2</sup>)+倉庫 20 m<sup>2</sup>)。</p> <p>増築により、学校などの団体見学での映像解説の視聴、雨天時の休憩場所としての利用が可能になった。</p> <p>また、講演会実施のための引き戸の設置、体験講座対応のために床清掃が容易なクロスを採用するなど、幅広い利用に対応できるようリニューアルを行った。</p>
評価及び今後の取組	<p>多目的ホールの増築により団体の受け入れや大人数での体験学習の実施が容易になった。</p> <p>これまで実施してきた体験講座に加えて、講座の開催など多様な学習機会の提供に努めていく。</p> <p>※今年度より、子どもたちの郷土の歴史に対する興味関心を高めていくことを目的に、夏休み期間中に「しもつけ子ども歴史講座」を開催する。</p>

### (2) 下野市の歴史文化を活用した観光振興事業 (事業費: 12, 117千円)

基本施策	文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり
基本方針	市民の自己実現の支援と交流・学びを活かす環境づくり
方向性	歴史遺産を生かした歴史のまちづくりを推進します
事業内容	<p>平成 29 年度に国が創出した「歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業」の採択事業。</p> <p>この事業は、同構想を策定した自治体と民間事業者等で構成された協議会が実施主体となつて補助事業(補助率 100%)に応募するもので、平成 29 年度は当市を含む全国 14 自治体の事業が採択された。</p> <p>当市では庁内関連各課のほか、史跡保護関連ボランティア、観光協会、道の駅しもつけの代表者で協議会を組織し、平成 28 年度策定の同構想に基づき①情報発信②人材育成③啓発普及の 3 事業を実施した。</p>
実施状況	<p>①情報発信事業</p> <p>市内に点在する文化財の周遊を促進するため、市内 8 カ所の古墳等を対象としたスマートフォン用文化財ガイドアプリを導入。アプリでは古墳の CG 映像と音声・文字(二か国語対応)による解説が可能で、古墳 8 カ所(丸塚、甲塚、愛宕塚、山王塚、三王山、御鷲山、下石橋愛宕塚、横塚)と寺院跡 2 カ所(薬師寺・国分寺)に対応。</p> <p>②人材育成事業</p> <p>文化財ガイドの養成を目的にガイド養成講座(全 5 回)を開催(参加者: 延べ 259 名)。</p> <p>③啓発普及事業</p> <p>文化財の啓発のため、上記 8 カ所の古墳を対象に歴史文化遺産カード(通称: 歴史カード)を各 1,000 部作成し、古墳の情報・CG 復元図を掲載。風土記の丘資料館、歴史館で配布している。</p>

<p>評価及び今後の取組</p>	<p>平成 28 年度に同構想を策定したことにより、他自治体に先駆けて補助事業に応募することができた。また、文化財ガイドアプリの導入により、市内の文化財巡りの活性化が期待される。ガイド養成講座修了者によるボランティアガイド協議会を発足することができた(登録 20 名)。 次年度はガイドアプリに日光街道関連情報の追加、ガイド養成講座・歴文カードの作成を行い、市の歴史遺産を生かした歴史のまちづくりを更に推進していく。</p>
------------------	--

### (3) 仁良川古墳群発掘調査事業 (事業費:4,988 千円)

<p>基本施策</p>	<p>文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり</p>
<p>基本方針</p>	<p>市民の自己実現の支援と交流・学びを活かす環境づくり</p>
<p>方向性</p>	<p>下野市周辺地域の歴史や当時の様相を究明するため、下野市の文化財について調査研究を進めます。</p>
<p>事業内容</p>	<p>平成 29 年度に仁良川地区の区画整理事業に伴い、確認調査を実施した結果、8基の古墳を確認した。 平成 29 年度はこのうちの4基の古墳の調査を実施した。</p>
<p>実施状況</p>	<p>調査区中央を縦断する県道結城石橋線を境に調査区を東西に分けて発掘調査を実施した。各調査区の概要については以下の通り。 ◎西調査区 ・確認調査(期間:平成 29 年 6 月中/対象面積:37,000 m<sup>2</sup>) 古墳 7 基を確認した。 ・発掘調査(期間:平成 29 年 7 月～9 月) 確認した7基の古墳の内、平成 29 年度の工事に該当する 6 号墳(直径 14m/円墳)、7号墳(直径 32m/円墳)、8 号墳(直径 18m/円墳)の調査を優先して実施した。 ◎東調査区 ・確認調査(期間:平成 29 年 10 月中/対象面積 5,000 m<sup>2</sup>) 古墳 1 基を確認した。 ・発掘調査(期間:平成 29 年 7 月～平成 30 年 3 月) 3 号墳(直径 25m/円墳)の調査を実施した。 ◎主な調査費の内訳 人件費 2,800 千円、測量委託 1,170 千円、重機等借上 900 千円</p>
<p>評価及び今後の取組</p>	<p>事業担当課との綿密な連携により、工事によって消滅してしまう文化財の記録保存(発掘調査)を行うことができた。 今後も文化財保護のため適切な発掘調査を実施する。また、調査記録を報告書として刊行するとともに、しもつけ風土記の丘資料館等で出土品の公開を行うなど、普及啓発活動に努める。</p>



薬師寺歴史館増築後の利用状況



古墳アプリ (横塚古墳:馬形埴輪)

# 文化財課の事業に対する外部評価委員の意見

☆ 今後検討を要する事項

## (1)東の飛鳥プロモーション事業【継続評価事業】

- 薬師寺歴史館のリニューアルによって多目的室のキャパの問題が解消され、団体見学者のガイドンス視聴や、館内講座の開催が容易になったことを評価する。また、増改築にあたり、総務省の交付金を最大限に活用しているが、担当者が市費以外の補助金獲得にチャレンジしている姿勢を評価する。
- 「東の飛鳥」というネーミングの発想が独創的で、下野市の知名度やPR効果が期待できる意味で高く評価したい。
- 昨年度の評価を踏まえ、歴史館に若い年代の方を呼び込むため、学校での出張講座や職場体験を積極的に実施し、子どもたちの興味関心を高めたことを評価する。
- ☆ 薬師寺跡のVRについては、スマートフォン世代ではない高齢者にも体験いただけるよう、引き続きPRに努めていただきたい。
- ☆ なぜ「東の飛鳥」なのか、定着するまではあらゆる媒体に説明書きを加え、理解を促す必要がある。

## (2)下野市の歴史文化を活用した観光振興事業

- 下野市と民間業者等が事業の実施主体となり、国の補助事業(補助率100%)に応募した結果、他自治体に先駆けて事業が採択(全国14自治体)されたことを評価する。
- 文化財の周遊促進のため文化財ガイドアプリを導入したり、文化財ガイドを養成するなど、歴史文化の観点から下野市の知名度アップに貢献している点を評価する。
- 観光事業を推進するためにはボランティアの育成が急務である。「文化財観覧ガイド養成講座」の実施がボランティアガイド協議会(登録20名)の発足につながったことを評価するとともに、今後の活躍に期待したい。
- ☆ 「文化財に光をあてる」ことを意図して観「晃」という表記にしているが、こうした用語が定着するまでは、広報紙やパンフレット等に説明書きを加えていただきたい。
- ☆ 既に、史跡めぐり等が実施されているが、寺院などを訪れても誰もいないため、現地での理解が深まっていない。今後は、ガイドを常駐させたり、休憩できるような場所を設けるなどの工夫が必要である。

## (3)仁良川古墳群発掘調査事業

- 区画整理事業によって貴重な文化財が消滅してしまうことは残念なことであるが、関係課と連携して調査記録を作成・保存し、出土品についても公開に向けて整備していることを評価する。
- 教育委員会内に文化財専門の担当課がある自治体は少なく、下野市の特徴になっている。発掘調査は、学芸員の地道な努力と専門知識に負うところが大きく、歴史の空白を埋め、厚みを与える意味で大変重要な任務となっているため、更なる活躍を期待したい。
- ☆ 発掘の調査記録は個々に作成されて完結してしまうが、仁良川古墳群の報告書については、全体を見据え、体系化したものを刊行していただきたい。

# スポーツ振興課

## (1)スポーツ振興事業 (事業費: 15,628千円)

◇継続評価事業

基本施策	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり
基本方針	市民がスポーツに親しみ、遊び、楽しむことができる環境づくり
方向性	「市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”」の実現に向けて、生涯スポーツ活動団体等の支援・充実を図る。
事業内容	「市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”」の推進を目指し、多様化する市民のスポーツに対する要望に応え、子供から高齢者・障がい者までのすべての市民が、それぞれの体力や目的に応じてスポーツに親しみ活動できる環境整備を進めるため、指導員の養成・資質の向上等に努め、スポーツ活動の推進を図る。
実施状況	<p><b>(1)スポーツ振興事業</b></p> <p><b>【指導者研修】</b> 指導者の技術向上を図るため、キンボールスポーツのリーダー・C級レフリー認定講習会及びティーボール初級公認指導者認定講習会、障がい者スポーツ研修会を開催した。</p> <p><b>【スポーツ教室】</b> 幼児から高齢者を対象として計9教室を開催した。特に、市の重点生涯スポーツとして、キンボールスポーツの推進を図るため、毎月1回講習会(キンボールサンデー)を開催した。</p> <p><b>【スポーツ大会】</b> ミニトライアスロン大会及び下野オープンキンボールスポーツ大会、障がい者スポーツ交流会を開催し、また市内全小学校参加のもと、第2回カンピくんカップ市内小学校交流キンボールスポーツ大会を開催した。</p> <p><b>【補助金等交付】</b> 生涯スポーツ及び少年スポーツの推進を図るため、体育協会及びスポーツ少年団に対して補助金を交付し、また競技スポーツの振興を図るため、全国大会等出場者及び国際大会において、優秀な成績を収めた選手に対し激励金(63件)及び褒賞金(1件)を交付した。</p> <p><b>【スポーツ交流】</b> 他地域のスポーツ交流を通し、子どもたちの豊かで健全な育成に寄与するため、第4回宮城県亘理町とのスポーツ交流事業(石橋 Jr 陸上スポーツ少年団、29名)を開催した。</p> <p><b>(2)市民体育祭開催事業</b></p> <p><b>【種目別大会】</b>ティーボール大会(474名)、キンボールスポーツ大会(232名)</p> <p><b>【運動会等】</b>石橋地区及び国分寺地区運動会、南河内地区スポーツフェスティバル(合計 3,648名)</p> <p><b>(3)総合型地域スポーツクラブ活動支援事業</b> 地域スポーツの振興を図るため、NPO法人グリムの里スポーツクラブ、NPO法人夢くらぶ国分寺、NPO法人元気ワイワイ南河内に対して活動費補助金を交付した。</p>
評価及び今後の取組	<p>(1)スポーツ教室では、総合型地域スポーツクラブへ業務委託を実施しているが、親子体操教室などの一部の事業で幼稚園や保育園など他団体が実施する事業と競合し、参加人数が伸び悩んでいるため、教室の内容について、スポーツクラブの持つ人的・物的資源を再度、見直し活用することで、より魅力ある教室を目指していく。なお、教室全体としては、利用者に好評をいただいている事業も多数あり、今後も継続的に各クラブへ事業委託を行っていく。</p> <p>また、重点生涯スポーツであるキンボールスポーツの普及促進については、平成28年度から市内小学校を対象とした「カンピくんカップ小学校交流キンボールスポーツ大会」を実施している。小学校全校が参加しており、今年度は昨年度に比べ大幅に参加チームが増えた。</p> <p>今後は、2022年度に行われる国民体育大会でデモンストレーションスポーツに選定されているため、より多くの市民に身近なスポーツとなるように一層の普及促進を図っていく。</p> <p>(2)市民体育祭は、地域コミュニティ醸成に大きく寄与する大会であり、多くの自治会の参加を得て実施している。平成29年度に限ったことでは無いが、競技によっては参加の難しい自治会が出てしまうなどの課題もあり、参加条件の見直しや競技の進行などの点で、より参加しやすく、また、自治会役員の負担軽減が図られるよう、プログラム等の見直しを行いながら実施をしていく。</p>

	<p>(3)各総合型地域スポーツクラブは、地域スポーツの推進役として、3クラブで各種事業を展開し生涯スポーツの推進に大きな役割を担っている。平成26年度より実施している3クラブの状況や問題点などを協議する運営調整会議を実施しており、より良いクラブ運営を目指して今後も適切な支援について検討を行いながら、安定した自主運営・活動ができるよう支援していく。</p>
--	---

## (2)大松山運動公園拡張整備事業 (事業費:1,040,356千円)

基本施策	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり
基本方針	市民がスポーツに親しみ、遊び、楽しむことができる環境づくり
方向性	大松山運動公園をスポーツ・レクリエーション活動拠点として、施設の整備・拡充により、環境整備を推進する。
事業内容	<p>市民誰もがスポーツを親しみ、健康づくりができる施設や公式大会が行える本格的な陸上競技場を備えた運動公園として整備するとともに、以下の機能を兼ね備えた公園の整備を行う。</p> <p>(1)多目的に利用する陸上競技場  (2)公園緑地機能を備えた市民に親しまれる公園  (3)防災機能を持つ公園</p>
実施状況	<p>(1)管理棟建築施工監理・土木工事現場管理業務 7,020千円  (2)設計積算業務 10,806千円  (3)伐採・移植業務等 27,482千円(うち繰越 7,776千円)  (4)各種工事の実施 961,984千円(うち繰越 661,374千円)  工事内容:陸上競技場・管理棟整備(2ヶ年継続 H29:544,130千円、H30:590,950千円)  多目的グラウンド整備(施設・グラウンド・電気・給水)、造成工事、下水道布設工事等  (5)水道工事負担金 32,000千円  (6)不動産鑑定 639千円  (7)移転補償 415千円  電柱移設 6件(東京電力・NTT)</p>
評価及び今後の取組	<p>平成29年度に主要施設である陸上競技場・管理棟整備の他、多目的グラウンド整備に着手することができた。</p> <p>平成30年度は、継続事業として陸上競技場・管理棟整備を進めるとともに、駐車場やトイレ、遊具等の施設整備を行い、年度内の完成を目指す。</p> <p>なお、公園の開園は、平成31年5月を予定している。</p>



大松山運動公園 (陸上競技場)



大松山運動公園 (陸上競技場管理棟)

### (3)国分寺B&G海洋センター改修事業（事業費：178,136千円）

基本施策	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり
基本方針	市民がスポーツに親しみ、遊び、楽しむことができる環境づくり
方向性	すべての市民が、スポーツに親しみ活動できる場を提供し、活力あるまちづくりを目指す。
事業内容	生涯スポーツは青少年の健全育成、高齢者の健康維持、家族や地域でのコミュニケーションの場や地域の活性化を担っている。 市民の多様なニーズやサービスに対応するため老朽化した体育施設の改修を実施し、施設の質や機能を向上させるとともに、市民が安心して利用できる体育施設とするための改修を実施する。
実施状況	国分寺B&G海洋センターは、昭和58年3月に開設したが、老朽化が進んだことから大規模な改修工事を実施した。(プール施設を除く) 【建築工事】 139,514,400 円 屋根防水工事 玄関スロープ設置 アリーナ・外壁改修工事(待機スペース増築 139.05 m <sup>2</sup> ) バスケットゴール交換 アリーナ床塗装及びコートライン引き直し 【機械設備工事】 17,571,600 円 トイレ洋式化 多目的トイレ設置 【電気工事】 16,956,000 円 LED照明交換 【改修施工監理】 4,093,200 円
評価及び今後の取組	利用者に負担を与えないよう工事時期を配慮すると共に、利用者に対して施設利用の代替措置を行い工事中も利用に支障のないよう対応することができた。 また、市民の多様なニーズへの変化を踏まえ、玄関スロープ設置・トイレ洋式化・多目的トイレ設置・待機スペース増築等の館内改修を行い、利用者が快適に利用できる施設とすることができた。 財源については、国費が見込めないため、合併特例債 134,700 千円の他にB&G財団 30,000 千円の助成金を確保した。 今後の取り組みとしては、施設を改修したことにより、利用計画を改修前の平均31,000人から平均36,000人の15%増を目標としている。



国分寺 B&G 海洋センター（玄関ロビー）



国分寺 B&G 海洋センター（アリーナ）

## スポーツ振興課の事業に対する外部評価委員の意見

☆ 今後検討を要する事項

### (1) スポーツ振興事業【継続評価事業】

- 南河内地区スポーツフェスティバルは平成28年度より参加者が大幅に増えたが、その要因としてはキンボールスポーツ競技を取り入れたため、今まで各小学校に用具を配付したり、指導者を派遣した成果と捉え、高く評価したい。
- 平成28年度はティーボール大会の参加者が減少したが、指導者研修を通して、各自治会の体育部長等に働きかけ、29年度は3チーム増の33チームとなった。指導者研修会を継続的に実施し、指導者の増員と市民スポーツの普及に努めたことを評価する。
- 天平マラソン大会では、参加者からの大会レポートに基づき、コースの見直しを実施し、快適な走路を確保した結果、参加者が214名増加したことを評価する。
- ☆ 障がい者スポーツを積極的に奨励している姿勢は評価に値するが、今後の課題として、健常者と障がい者とのスポーツ交流の場を検討していただきたい。
- ☆ 市民体育祭は高齢化、少子化等により自治会参加が益々困難になってくると思われる。自己評価にもある通り、役員の負担軽減や種目の見直しなどの対策をお願いしたい。

### (2) 大松山運動公園拡張整備事業

- 担当者の努力により用地交渉が進み、平成32年度に完成予定であった陸上競技場や管理棟の工事が、1年前倒しで実施されたことを評価する。
- 公式大会の開催が可能となる施設であることから、全国レベルのスポーツに親しむ機会が増える意味で、市民としてはたいへん喜ばしく、更なるスポーツ人口の拡大を期待したい。
- 災害時の避難場所である体育センターに隣接して、スツール型トイレやカマドベンチを配置し、競技場もヘリポートとして利用できるよう、防災機能に配慮されていることを評価する。
- ☆ 運動公園完成後の運営については、民間のノウハウ等も活用しながら創意工夫し、計画的な利用促進に努めていただきたい。

### (3) 国分寺B&G海洋センター改修事業

- 改修を行うにあたり、定期利用者へ代替措置を講じたり、工事時期を配慮したりするなど、利用者を優先させて事業を進めたことを評価する。
- B&G 財団から、日頃の取組や行政との関わりが評価され、改修のための助成金として3,000万円が確保できたことを評価する。
- ☆ 自己評価において、改修後の利用計画として15%増の平均36,000人の利用を目標に掲げているので、達成に向けた事務局の取組に期待したい。
- ☆ 老朽化施設の改修が、ここ数年間積極的に行われているが、その財源は合併特例債等の活用による市民の借金になっている。今後は NPO として利用料金が減免されている総合型スポーツ団体についても、他の一般利用者同様、応分の負担を検討する必要があるのではないか。

## 9. 外部評価委員会委員

氏 名	所 属 等
上 原 秀 一	学識経験者（宇都宮大学教育学部准教授）
五 月 女 洪	学識経験者（社会教育委員長）
津野田 久江	学識経験者（人権擁護委員）
古 島 淑 子	学識経験者（元小山市立羽川小学校長）
真 分 喜 治	公募委員

## 10. 外部評価委員会による総合意見

この点検・評価は、下野市総合計画に位置づけられた主要施策のうち、教育委員会所管事業の内部評価を経た15事業（平成29年度事業）について行ったものです（5事業は継続評価）。外部評価委員会では、これらの15事業についてのヒアリングを実施し、評価については会議終了後に各委員が文章をもって提出いたしました。

教育委員会事務局において、提出された評価の中から、評価する点や今後一層の改善が期待される点などを事業ごとに集約し、各課の「事業に対する外部評価委員の意見」として取りまとめを行っていただきました。

### 施策1 将来を担う人づくり

「学校・家庭・地域が連携し、地域に開かれた特色ある教育環境づくり」を基本方針とする評価対象6事業について、各委員から、次のような意見が出されました。

「スクールガード事業」については、通学路の安全確保のため、行政の垣根を超えたきめ細やかな対策を講じていることや、ボランティア全員の保険加入を実施していることなどを高く評価する意見が出されました。今後、学校を基盤とするスクールガードボランティアと地域を見守るスクールガード・リーダー等との連携を密にすることなどを期待する意見が出されました。

「石橋中学校大規模改修事業」については、困難な課題を乗り越えて大規模改修に向け実施設計書を作成したことや、仮設校舎で3年間を過ごすことがないよう生徒に配慮したことなどを高く評価する意見が出されました。今後、学校の改修や建設の計画にあたっては、デザインよりも子どもたちの安全確保と機能性を最優先とすることなどを期待する意見が出されました。

「学校情報化検討支援事業」（継続評価）については、導入機器の精査と調達方

法を検討・実施したことにより経費が大幅に削減されたことなどを高く評価する意見が出されました。一方、小学校5・6年生の児童数を考慮して導入台数を見直すことなどを期待する意見が出されました。

「児童生徒英語教育推進事業」（継続評価）については、昨年の評価に基づき、JTEを増員し全校に配置したり、ALTの指導力向上のために研修会を増やしたことなどを高く評価する意見が出されました。一方、2年後の外国語必修化（3・4年生）や教科化（5・6年生）に合わせて教師をサポートすることなどを期待する意見が出されました。

「小中一貫教育推進事業」については、義務教育9年間を見通した教育の基盤整備が図られたことや、「小中一貫教育推進ハンドブック（試案）」を作成して教師が共通認識を持てるよう指針を示したことなどを高く評価する意見が出されました。一方、地域の実態を十分把握して小中一貫教育の全体計画を編成することなどを期待する意見が出されました。

「確かな学力と芸術推進事業」については、大型ディスプレイとPCタブレットを、市内中学校の全教室、小学校とサポートセンターに各1台ずつ導入したことなどを高く評価する意見が出されました。一方、ICT利用率を今後も高い水準に維持することなどを期待する意見が出されました。

## 施策2 生涯にわたり学べる機会づくり

「市民の自己実現の支援と交流・学びを活かす環境づくり」を基本方針とする評価対象3事業について、各委員から、次のような意見が出されました。

「図書館共通管理運営事業」（継続評価）については、昨年度は評価における内部評価と外部評価の差が課題となっていたが、本年度は外部評価に一本化し、厳正な評価を実施したことなどを高く評価する意見が出されました。一方、3館の休館日を分散するよう検討することなどを期待する意見が出されました。

「社会教育事業」については、成人式がどの会場においても混乱なく落ち着いた式典になっていることや、「年輪のつどい」がセカンドステージを迎えた方々が社会参加するきっかけづくりとなっていることなどを高く評価する意見が出されました。一方、成人式にもっと多くの方に参加していただけるような工夫や企画を検討することなどを期待する意見が出されました。

「南河内公民館改修事業」については、市の公民館の老朽化が著しい中、施設としての寿命延長と利用者の利便性を図ろうとしていることなどを高く評価する意見が出されました。一方、休館中の利用者減に備えた工期（休館日）の周知と改修後の利用者拡大に務めていくことなどを期待する意見が出されました。

## 施策3 文化芸術と文化遺産による生活環境づくり

「市民の自己実現の支援と交流・学びを活かす環境づくり」を基本方針とする評価対象3事業について、各委員から、次のような意見が出されました。

「東の飛鳥プロモーション事業」（継続評価）については、薬師寺歴史館のリニューアルによって多目的室の収容人数の問題が解消され、団体見学者のガイダンス

視聴や、館内講座の開催が容易になったことなどを高く評価する意見が出されました。一方、薬師寺跡のVRについてスマートフォン世代ではない高齢者も体験できるようPRに努めることなどを期待する意見が出されました。

「下野市の歴史文化を活用した観光振興事業」については、下野市と民間業者等が事業の実施主体となり、国の補助事業（補助率100%）に応募した結果、他自治体に先駆けて事業が採択（全国14自治体）されたことなどを高く評価する意見が出されました。一方、「文化財に光をあてる」ことを意図して観「晃」という表記にしていることについて広報紙やパンフレット等で説明することなどを期待する意見が出されました。

「仁良川古墳群発掘調査事業」については、区画整理事業による貴重な文化財の消滅を避けるため、関係課と連携して調査記録を作成・保存し、出土品についても公開に向けて整備していることなどを高く評価する意見が出されました。一方、発掘の調査記録は個々に作成されて完結してしまうが、仁良川古墳群については、全体を見据え、体系化したものを刊行することなどを期待する意見が出されました。

#### **施策4 市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり**

「市民がスポーツに親しみ、遊び、楽しむことができる環境づくり」を基本方針とする評価対象3事業について、各委員から次のような意見が出されました。

「スポーツ振興事業」（継続評価）については、キンボールスポーツ競技を取り入れたことにより南河内地区スポーツフェスティバルの参加者が大幅に増えたことなどを高く評価する意見が出されました。一方、健全者と障がい者とのスポーツ交流の場を充実させることなどを期待する意見が出されました。

「大松山運動公園拡張整備事業」については、用地交渉が順調に進み、陸上競技場や管理棟の工事が1年前倒しで実施されたことなどを高く評価する意見が出されました。一方、完成後の運営については、民間のノウハウ等も活用しながら創意工夫し、計画的な利用促進に努めることなどを期待する意見が出されました。

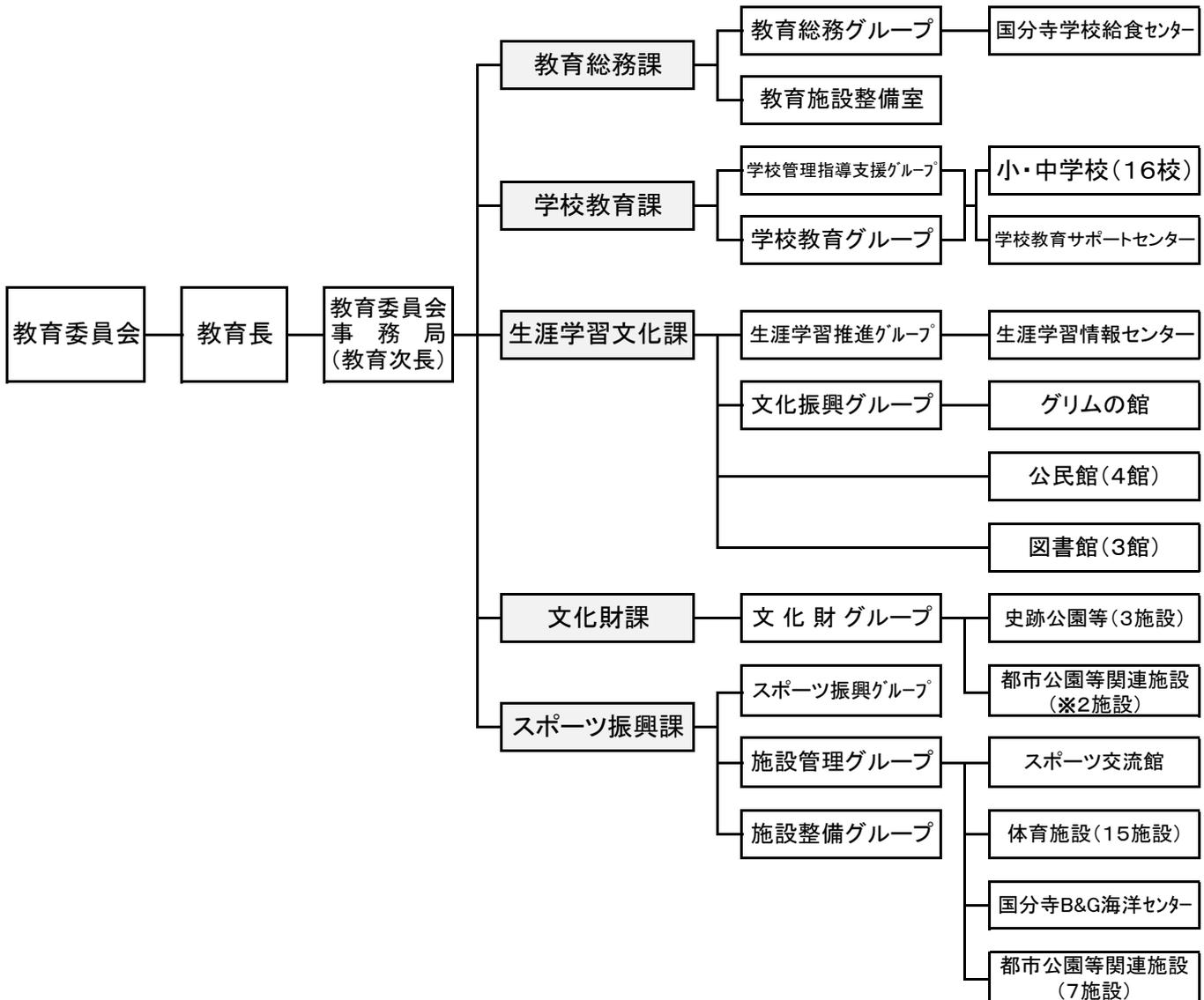
「国分寺B&G海洋センター改修事業」については、改修にあたり定期利用者へ代替措置を講じたり、工事時期を配慮したりするなど、利用者優先で実施したことなどを高く評価する意見が出されました。一方、改修後の利用計画として15%増の平均36,000人の利用という目標の達成に向けて努力することなどの意見が出されました。

下野市教育委員会は、活動の活性化に向けて積極的な取り組みを続けて来られました。今回の点検・評価において各委員が示した意見を参考としつつ、今後も一層の事業の発展を図られるよう期待します。

## 関係資料

1. 下野市教育委員会事務局組織図
2. 下野市教育委員会点検評価に関する条例

# 下野市教育委員会事務局組織図



## 【各施設明細】

### ◆小・中学校

- 1 薬師寺小学校
- 2 吉田東小学校
- 3 吉田西小学校
- 4 祇園小学校
- 5 緑小学校
- 6 石橋小学校
- 7 古山小学校
- 8 細谷小学校
- 9 石橋北小学校
- 10 国分寺小学校
- 11 国分寺西小学校
- 12 国分寺東小学校
- 13 南河内中学校
- 14 南河内第二中学校
- 15 石橋中学校
- 16 国分寺中学校

### ◆公民館

- 1 南河内公民館
- 2 南河内東公民館
- 3 石橋公民館
- 4 国分寺公民館

### ◆図書館

- 1 南河内図書館
- 2 石橋図書館
- 3 国分寺図書館

### ◆史跡公園等

- 1 下野薬師寺跡ふるさと歴史の広場  
(下野薬師寺歴史館)
- 2 小金井一里塚

### ◆体育施設

- 1 南河内球場
- 2 五千石球場
- 3 西坪山球場
- 4 南河内テニスコート
- 5 南河内ゲートボール場
- 6 南河内東部運動広場
- 7 南河内体育センター
- 8 南河内東体育館
- 9 南河内武道館
- 10 石橋体育センター
- 11 石橋武道館
- 12 石橋弓道場
- 13 国分寺聖武館
- 14 国分寺武道館
- 15 国分寺静思館

### ◆都市公園等関連施設

- 1 別処山公園
- 2 祇園原公園
- 3 諏訪山公園
- 4 大松山運動公園
- 5 国分寺運動公園
- 6 柴公園
- 7 みのわ古城公園
- 8 ※下野国分尼寺跡公園
- 9 ※下野国分寺跡  
(しもつけ風土記の丘資料館)

○下野市教育委員会点検評価に関する条例

平成25年3月22日

条例第11号

改正 平成27年3月20日条例第20号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条の規定に基づき、下野市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価（以下「点検評価」という。）を実施することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、その実施に関する必要な事項を定めるものとする。

(平27条例20・一部改正)

(点検評価の対象)

第2条 点検評価の対象は、教育委員会の権限に属する事務事業全般とし、下野市教育計画に掲げた施策事業のうち、教育行政の推進上での主要事業、その他点検評価を行うことが必要と認める事業とする。

(点検評価の実施)

第3条 点検評価は、毎年度1回、対象事業の取組状況、実施による成果及び課題等を分析検討の上、今後の取組の方向性を明らかにするものとする。

(外部評価委員会の設置)

第4条 教育委員会は、前条の点検評価の実施に関し、その客観性の確保を図るとともに、法第27条第2項に規定する教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、教育委員会点検評価外部評価委員会（以下「外部評価委員会」という。）を設置する。

(外部評価委員会の所掌事務)

第5条 外部評価委員会は、教育委員会の実施した点検評価について、意見を述べるものとする。

2 外部評価委員会は、前項の意見について、取りまとめた結果を教育委員会に報告するものとする。

(外部評価委員会の組織)

第6条 外部評価委員会は、5人以内の委員で組織し、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) 教育委員会が必要と認めた者

2 外部評価委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

3 外部評価委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

4 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

5 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指定する委員がその職務を行う。

(報告及び公表)

第7条 教育委員会は、点検評価の結果に関する報告書を作成し、市議会に報告するとともに、市民へ公表するものとする。

(庶務)

第8条 点検評価の実施に関する庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(補則)

第9条 この条例に定めるもののほか、点検評価の実施に関して必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年3月20日条例第20号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

平成30年度（平成29年度事業） 栃木県下野市教育委員会点検・評価報告書

お問い合わせ先

発行者 栃木県下野市教育委員会

編集 教育総務課

〒329-0492 栃木県下野市笹原26番地

電話：(0285) 32-8917 / FAX：(0285) 32-8610

E-mail：kyouikusoumu@city.shimotsuke.lg.jp

ホームページ：http://www.city.shimotsuke.lg.jp